

signature

date

TARGET: Feb, Jun 2024

## 直前演習-4

問1)

次の資料により、株式会社友字組の各年度における工事収益、工事原価、工事損益の金額を答えなさい。

(資料)

- ×1期に建物の工事契約を締結した。請負金額は1,200百万円である。工事原価総額は1,000百万円と見積った。完成予定は×3期である。この工事については、工事の進捗度を合理的に見積もることができるため、原価比例法により収益を認識する。
- ×2期末において、建物の内装仕様変更により、契約が変更（請負金額をを1,420百万円に変更）された。これに伴い、工事原価総額は1,200百万円と見積りなおした。
- ×3期において、完成した。

(単位：百万円)	×1期	×2期	×3期
当期発生工事原価	400	560	240
完成までに要する総見積工事原価	1,000	1,200	—

解1)

(単位：百万円)	×1期	×2期	×3期
工事収益			
工事原価			
工事損益			